

# 第60期 事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

## I. 会社の概況

### 1. 事業者の商号

大分航空ターミナル株式会社

### 2. 本店の所在地

大分県国東市安岐町下原13番地

### 3. 設立年月日

昭和31年12月17日

### 4. 資本金の額

495,000,000円

### 5. 主な事業内容

- (1) 航空機による運送代理店業
- (2) 貸室業ならびに施設、設備の賃貸業
- (3) 損害保険代理業
- (4) 旅行業者代理業
- (5) 食堂および喫茶店ならびに娯楽施設の経営
- (6) 酒類、薬品、飲食物等の販売
- (7) 広告宣伝業
- (8) 航空事業者、航空旅客および航空貨物に対する役務ならびに施設の提供

### 6. 重要な子会社の状況

会社名	資本金の額	出資比率	主要な事業内容
株式会社 大分航空トラベル (大分市金池町2丁目1-3)	万円 5,000	% 100.0	旅行業、旅行用品の販売 前記に付帯関連する一切の業務

## 7. 取締役及び監査役の状況

(平成28年3月31日現在)

氏名	会社における地位及び担当	主たる職業
富高松雄	代表取締役社長	
林雅和	取締役 (航空部担当)	
熊倉衛	取締役	
藤井俊治	取締役 (商事部・空港ビル施設及びターミナル 周辺地域の整備検討支援、助言 担当)	
立花章	取締役 (総括調整・総務部・事業部・空港 経営改革・危機管理・コンプライアンス・ 広報担当)	
長野健	取締役	大分合同新聞社 代表取締役社長
幸重綱二	取締役	大分交通(株) 代表取締役会長
岩田俊昭	取締役	日本航空(株) 大分支店長
秦野晃郎	監査役	公認会計士
宮坂純子	監査役	全日本空輸(株) 大分支店長

## Ⅱ. 事業の概況

### 1. 旅客の動向

国内線の状況は、東京線は機材の大型化による提供座席数の増加等により前期比103.1%となりましたが、成田線は曜日による変則的なダイヤの影響もあり前期比98.9%と2年連続で前期を下回りました。また、大阪線は提供座席数が増加したことで前期比105.8%となりましたが、名古屋線は若干減少の前期比98.6%でした。関西線は平成26年10月よりジェットスター・ジャパンが就航しましたが、利用率の低迷(53.9%)などもあり平成27年10月25日より運休となりました。

この結果、国内線の乗降客数は、57,595人増加の1,791,097人(前期比103.3%)となりました。(乗客数895,231人-前期比103.5%、降客数895,866人-前期比103.1%)

国際線では、LCCの浸透や訪日外国人旅客数が大幅に増加しているなか、ソウル線ではLCCのティーウェイ航空が年間を通して好調に推移するとともに、大韓航空も1月～2月に就航したことにより、26,455人増加の60,643人(前期比177.4%)と大幅な伸びとなりました。また、台中と大分・長崎両空港を利用したマンダリン航空のチャーター便の就航(14便)もあり、定期便とチャーター便を合わせた国際線乗降客数は62,275人となりました。

この結果、国内線と国際線を合計した乗降客数は、83,725人増加の1,853,372人(前期比104.7%)で、4期連続の増加となりました。乗降客数が180万人を超えるのは平成19年度以来、8期ぶりとなります。

### 2. 営業収支の状況

航空部においては、ティーウェイ航空が年間を通して就航したことにより受託業務収入が増加したものの、貨物の物量の減少などにより、売上高は前期比98.7%と下回りました。

商事課においては、乗降客数の伸びにも支えられ順調に推移したことや、国東市のふるさと納税の返礼品の受注等もあり、「旅人」は前期比104.1%、「セブン-イレブン」も前期比107.6%と伸ばしています。特に免税売店はソウル線の乗客数の増加(前期比174.4%)や人気商品の展開を行ったことで前期比231.8%と大幅な伸びとなり、合計で前期比107.2%となりました。

レストラン課においては、「スカイライン」は12月1日よりオープン時間を1時間早め、午前9時に変更したことによる効果もありましたが、昼食時間帯に就航していた関西線の運休等のダイヤの影響を受けたこともあり前期比102.0%の伸びにとどまりました。「アズール」も同様の要因により前期比99.8%と下回る結果となり、合計で前期比101.5%となりました。

事業部においては、貨物代理店の撤退による家賃収入の減収があったものの、テナントが年間を通して営業したことによる家賃の増収や、ビジネスラウンジが年間を通して好調に推移したこと等により前期比100.4%となりました。

この結果、売上高合計は前期比103.8%の2,665百万円となり、売上原価を差し引いた売上総利益は前期比101.8%の1,656百万円となりました。

なお、部門別売上高は次の通りです。

(単位：千円、%)

部 門	平成 27 年度売上高	平成 26 年度売上高	前期比
航 空 部	362,731	367,500	98.7
商 事 課	1,373,889	1,281,720	107.2
レストラン課	191,470	188,653	101.5
ビ ル 事 業	874,741	871,228	100.4
そ の 他	14,935	14,935	100.0
( 部門 計 )	( 2,817,768 )	( 2,724,038 )	( 103.4 )
内部売上調整 (注)	-151,789	-155,433	—
合 計	2,665,978	2,568,604	103.8

(千円未満切り捨て)

(注) 内部売上調整

社内間の取引においては、売上と売上原価及び費用をそれぞれの部署で計上しているが、この内部取引の計上を避けるための調整

販売費及び一般管理費については、平成24年度より3年間実施しました経営改善対策が一定の成果を得たと判断し、従業員賞与を3年ぶりに減額前の水準に戻したことによる人件費の増加、館内照明器具のLED化による諸費の増加、前期に実施した電気空調熱源設備の更新などによる減価償却費の増加により前期比103.1%の1,465百万円となり、この結果、当期営業利益は前期比92.9%の191百万円となりました。

営業外損益については、将来に向けた設備投資として第2期電気空調熱源設備更新工事に伴う撤去費用の増加と、上場株式の評価損による営業外費用が増加した結果、営業外損益を加減した経常利益は前期比72.7%の147百万円となりました。

### 3. 設備投資及び資金調達の状況

当期は、第2期の電気空調熱源設備の更新工事に「平成27年度エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」を活用して166百万円の設備投資を行ったほか、国際線ターンテーブルの更新等に37百万円の設備投資も行いました。これらに充当する資金として、180百万円の借り入れを行いました。

### 4. 今後の課題と展望

平成28年度は、継続・成長を目指した「中期経営方針」の2年目となります。「お客様・社員の満足度向上」、「大分空港の価値向上」、「体力・能力の更なる強化」の基本目標のもと、課題に向かって役職員一体となって取り組んでまいります。

大分空港の乗降客数は平成23年度の130万人台から180万人台へと順調に推移し、財務基盤も経営改善対策等を実施し着実に前進している状況ですが、平成28年度の国内線乗降客数は、関西線の運休や東京線の機材の小型化等もあり、平成27年度を下回ることが懸念される厳しい環境のなか、中期経営方針に則った収支予算を策定しました。

また、今年4月14日・16日の両日に発生しました熊本地震の影響による国内線乗降客数の減少やティーウェイ航空の運休（4月21日～6月1日 24便）などさらに厳しい状況となっていることから、現在、収支に及ぼす影響等を精査し検討しているところです。

一方、航空業界においては、空港経営改革で仙台空港、関西・伊丹空港が民間委託の手続きを完了しました。続いて福岡空港や、大分空港と乗降客数が類似している高松空港も民間委託への移行を検討しています。当社としても、県をはじめ関係機関と連携しながら、引続き情報収集と研究を続けてまいります。

結びに、本年度は会社創立60周年の節目の年となります。更なる継続と成長を目指して、お客様満足度の向上、財務基盤の強化に努め、大分の空の玄関口としての公共的使命を果たしていく所存でございますので、今後とも、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### Ⅲ. 計算書類

#### 1. 貸借対照表

(平成28年3月31日 現在)

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>1,062,952,682</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>546,145,347</b>
現金及び預金	892,563,190	買掛金	179,475,334
売掛金	48,904,306	1年以内返済長期借入金	172,992,000
商品	25,027,237	未払金	36,591,959
貯蔵品	2,125,762	預り金	1,114,700
前払費用	9,069,502	仮受金	20,357,123
仮払金	18,544,881	前受収益	48,589,579
未収入金	68,353,804	未払法人税等	23,357,399
貸倒引当金	▲ 1,636,000	未払消費税等	11,453,253
		賞与引当金	52,214,000
<b>固 定 資 産</b>	<b>2,709,739,891</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>964,993,662</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>2,403,702,449</b>	長期借入金	798,671,000
建築物	2,209,284,051	退職給付引当金	64,546,262
構築物	57,730,026	修繕引当金	65,074,000
機械装置	71,506,130	預り保証金	36,702,400
車輜運搬具	524,208		
器具備品	56,651,624	<b>負 債 合 計</b>	<b>1,511,139,009</b>
土地	8,006,410		
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>7,958,243</b>	<b>純 資 産 の 部</b>	
電話加入権	1,618,385	株 主 資 本	2,261,553,564
ソフトウェア	6,339,858	資 本 金	495,000,000
		利 益 剰 余 金	1,766,553,564
<b>投資その他の資産</b>	<b>298,079,199</b>	利 益 準 備 金	96,340,000
投資有価証券	206,803,831	そ の 他 利 益 剰 余 金	1,670,213,564
関係会社株式	74,500,000	別 途 積 立 金	872,140,506
長期貸付金	2,340,500	繰越利益剰余金	798,073,058
差入保証金	20,000		
長期前払費用	14,414,868	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>2,261,553,564</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>3,772,692,573</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>3,772,692,573</b>

## 2. 損益計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額
売 上 高	2,665,978,793
売 上 原 価	1,009,202,741
売 上 総 利 益	1,656,776,052
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,465,774,573
営 業 利 益	191,001,479
営 業 外 収 益	66,182,050
受 取 利 息	241,656
そ の 他 の 収 益	65,940,394
営 業 外 費 用	109,378,697
支 払 利 息	17,576,083
そ の 他 の 費 用	91,802,614
経 常 利 益	147,804,832
税 引 前 当 期 純 利 益	147,804,832
法 人 税 等	41,000,000
当 期 純 利 益	106,804,832

### 3. 株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位:円)

	株主資本						純資産 合計
	資本金	利益剰余金				株主資本 合計	
		利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
			別途 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	495,000,000	94,855,000	872,140,506	707,603,226	1,674,598,732	2,169,598,732	2,169,598,732
当期変動額							
剰余金の配当				▲ 14,850,000	▲ 14,850,000	▲ 14,850,000	▲ 14,850,000
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立て		1,485,000		▲ 1,485,000			
当期純利益				106,804,832	106,804,832	106,804,832	106,804,832
当期変動額合計		1,485,000		90,469,832	91,954,832	91,954,832	91,954,832
当期末残高	495,000,000	96,340,000	872,140,506	798,073,058	1,766,553,564	2,261,553,564	2,261,553,564



## 4. 個別注記表

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

### 1, 重要な会計方針

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

- ① 有価証券 時価のあるものについては決算日の市場価格等に基づく時価法、時価のないものについては移動平均法に基づく原価法
- ② 棚卸資産 最終仕入原価法による原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産 法人税法の規定による定率法、但し、平成10年4月1日以降取得した建物(建物付属設備は除く)は定額法
- ② 無形固定資産 法人税法の規定による定額法

#### (3) 引当金の計上基準

- ① 退職給付引当金 従業員等の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しています。
- ② 修繕引当金 将来発生が予想される大規模修繕費に備え、その必要額を見積もり計上しています。
- ③ 賞与引当金 従業員等の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。
- ④ 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について一定の繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

#### (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

- ① リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
- ② 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税抜き方式によっています。

### 2, 貸借対照表

#### (1) 担保資産

担保に供している資産	建 物	2,080,999,596 円
	機械装置	71,506,130 円
	計	2,152,505,726 円

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 4,983,734,212 円

### 3, 損益計算書

当期減価償却費 194,728,432 円

### 4, 株主資本等変動計算書

#### (1) 発行済株式の種類及び総数

発行済株式の種類	前期末株式数	当期末株式数
普通株式	990,000株	990,000株

#### (2) 配当に関する事項

##### ① 当期中に行った剰余金の配当

平成27年 6月9日開催の定時株主総会において、次のとおり議決致しました。

配当金の総額	14,850,000円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	15円
基準日	平成27年 3月31日
効力発生日	平成27年 6月10日

##### ② 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

平成28年 6月22日開催の定時株主総会において、次のとおり議決致しました。

配当金の総額	14,850,000円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	15円
基準日	平成28年 3月31日
効力発生日	平成28年 6月23日

IV. 附属明細書

1. 事業報告 附属明細書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)

平成27年度 大分空港乗降客数

1. 国内線

(単位：人、%)

		平成27年度	平成26年度	増減	前年比	備考	
東京	乗客	634,515	613,384	21,131	103.4		
	降客	636,850	619,514	17,336	102.8		
	乗降客	1,271,365	1,232,898	38,467	103.1		
成田	乗客	96,459	97,568	▲ 1,109	98.9		
	降客	92,534	93,605	▲ 1,071	98.9		
	乗降客	188,993	191,173	▲ 2,180	98.9		
大阪	乗客	111,889	105,261	6,628	106.3		
	降客	111,864	106,194	5,670	105.3		
	乗降客	223,753	211,455	12,298	105.8		
関西	乗客	19,885	15,377	4,508	129.3		
	降客	20,507	15,796	4,711	129.8		
	乗降客	40,392	31,173	9,219	129.6		
名古屋	乗客	32,000	32,671	▲ 671	97.9		
	降客	33,214	33,450	▲ 236	99.3		
	乗降客	65,214	66,121	▲ 907	98.6		
臨時便(*)	乗客	483	356	127	135.7	* 臨時便	
	降客	897	326	571	275.2	H27	H26
	乗降客	1,380	682	698	202.3	出発 9便 到着 9便	出発 6便 到着 4便
乗客計		895,231	864,617	30,614	103.5		
降客計		895,866	868,885	26,981	103.1		
定期便乗降客計		1,789,717	1,732,820	56,897	103.3		
臨時便乗降客計		1,380	682	698	202.3		
乗降客合計		1,791,097	1,733,502	57,595	103.3		

2. 国際線

(単位：人、%)

定期便		平成27年度	平成26年度	増減	前年比	備考	
ソウル	乗客	30,680	17,595	13,085	174.4		
	降客	29,963	16,593	13,370	180.6		
定期便計		60,643	34,188	26,455	177.4		
チャーター便		平成27年度	平成26年度	増減	前年比	就航先	
出発	便数	9	6			H27 H26	
	乗客	1,069	1,113	▲ 44	96.0	台中×7 ソウル×2	台北×2 バンコク×2 台中×2
到着	便数	7	5			台中×7	
	降客	563	844	▲ 281	66.7		台北×2 バンコク×1 台中×2
チャーター便計	便数	16	11	5			
	乗降客	1,632	1,957	▲ 325	83.4		
乗降客合計		62,275	36,145	26,130	172.3		

3. 国内線・国際線 合計

(単位：人、%)

		平成27年度	平成26年度	増減	前年比	備考
乗降客合計		1,853,372	1,769,647	83,725	104.7	

## 2. 計算書類 附属明細書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)

### 1. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

(単位:円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末残高	償却累計額
建物	1,740,598,529	452,544		70,987,165	1,670,063,908	2,034,988,906
建物付属設備	498,558,943	121,071,205	1,403,971	79,006,034	539,220,143	2,439,725,185
構築物	61,043,506			3,313,480	57,730,026	160,720,560
機械装置	74,934,663	12,400,000	1	15,828,532	71,506,130	150,476,060
車両運搬具	794,086			269,878	524,208	7,232,410
器具備品	56,823,105	22,136,365	10,223	22,297,623	56,651,624	190,591,091
土地	8,006,410				8,006,410	0
<b>有形固定資産計</b>	<b>2,440,759,242</b>	<b>156,060,114</b>	<b>1,414,195</b>	<b>191,702,712</b>	<b>2,403,702,449</b>	<b>4,983,734,212</b>
電話加入権	1,618,385	0	0	0	1,618,385	0
施設利用権	0	0	0	0	0	2,816,894
ソフトウェア	7,040,013	2,410,000	84,435	3,025,720	6,339,858	19,049,252
<b>無形固定資産計</b>	<b>8,658,398</b>	<b>2,410,000</b>	<b>84,435</b>	<b>3,025,720</b>	<b>7,958,243</b>	<b>21,866,146</b>
<b>合計</b>	<b>2,449,417,640</b>	<b>158,470,114</b>	<b>1,498,630</b>	<b>194,728,432</b>	<b>2,411,660,692</b>	<b>5,005,600,358</b>

## 2. 引当金の明細

(単位:円)

項 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金	1,577,000	1,636,000	1,577,000	1,636,000
賞与引当金	66,169,000	52,214,000	66,169,000	52,214,000
退職給付引当金	81,699,735	29,404,000	46,557,473	64,546,262
修繕引当金	60,508,000	8,421,000	3,855,000	65,074,000

## 3. 販売費及び一般管理費の明細

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
役員報酬	39,954,400	
給料諸手当	693,732,038	
福利厚生費	114,471,992	
減価償却費	194,728,432	
賃借料	13,782,084	
修繕費	17,384,000	
水道光熱費	71,967,654	
損害保険料	12,681,096	
管理委託費	103,029,005	
備消耗品費	70,943,271	
図書研修費	4,468,618	
通信費	4,485,641	
広告宣伝費	5,327,277	
支払手数料	30,774,440	
旅費交通費	34,616,993	
交際費	3,522,571	
公租公課	30,977,887	
諸負担金	5,706,116	
寄付金	397,322	
その他諸費	12,823,736	
合 計	1,465,774,573	